

带状疱疹ワクチン予防接種を受けられる方へ 必ずお読みください

●带状疱疹ワクチンの特徴について

	生ワクチン(ビケン)	不活化ワクチン(シングリックス)
接種回数	1回	2回※
有効性	50～59歳:69.8%、60～69歳:64%、70～79歳:41% 80歳以上 :18%	50～59歳:96.6%、60～69歳:97.4%、70～79歳:91.3% 80歳以上 :91.4%
予防効果	5～7年程度	10年以上 (11年目以降は延長試験を実施中)
副反応	■頻度10%以上の副反応 発赤(44.0%)、掻痒感(27.4%)、熱感(18.5%)、腫脹(17.0%)、疼痛(14.7%)、硬結(13.5%) ■重大な副反応(いずれも頻度不明) アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎	■頻度10%以上の副反応 疼痛(79.1%)、発赤(37.4%)、腫脹(24.2%)、筋肉痛(36.9%)、疲労(34.6%)、頭痛(28.3%)、悪寒(21.4%)、発熱(16.7%)、胃腸症状(12.0%) ■重大な副反応(いずれも頻度不明) ショック、アナフィラキシー
助成金額	4,000円	10,000円/回 2回を上限とする

※不活化ワクチン標準接種間隔：1回目の接種から2か月後、遅くとも6か月後までに2回目接種する（例外として、医師と相談のうえ1か月に短縮できる場合があります）

<引用文献>

Zostavax の SPS・STPS・LTPS 試験（50歳代は ZEST 試験）（国内での有効性について試験を行っていないため、本質的に同じワクチンとされている Zostavax の試験結果から引用）、Shingrix Zoster-006・022・049試験、医薬品添付文書

●予防接種を受けることができないかた

- ・明らかに発熱（37.5度以上）している方
- ・重い急性疾患にかかっていることが明らかな方
- ・過去にこのワクチンの成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある方
- ・（生ワクチンの場合）妊娠している方
- ・（生ワクチンの場合）免疫不全状態の方、他の病気などにより免疫抑制状態にある方
- ・（生ワクチンの場合）他の生ワクチンを接種して27日以内の方
- ・その他、医師が予防接種を受けることが不相当と判断した方

●予防接種を受けるに際し、担当医師とよく相談しなくてはならない人

- ・心臓や血管、腎臓、肝臓、血液の障害などの基礎疾患がある方
- ・他のワクチンの接種を受けて、2日以内に発熱があった人や全身性の発疹などアレルギーが疑われる症状が出たことがある方
- ・このワクチンの成分に対して、アレルギーをおこすおそれのある方
- ・過去にけいれん(ひきつけ)を起こしたことがある方
- ・過去に免疫に異常があると診断されたことがある人や両親や兄弟に先天性免疫不全症の人がいる方
- ・（不活化ワクチンの場合）血小板減少症や凝固障害のある方、抗凝固療法を受けている方
- ・（不活化ワクチンの場合）授乳中の方、妊娠している方、または妊娠している可能性がある方

●その他

- ・（生ワクチンの場合）女性の方は、接種後2か月は妊娠を避けましょう